

## 鳥インフルエンザ A(H7N9)対策について ~ 安全対策協議会資料

2013.4.16 在フィリピン大使館・医務班

### 何が脅威なのか？

鳥インフルエンザ A(H7N9)は、本来『トリ』の病気である。『ヒト』への感染が確認されたのは今回が初めて。つまり人類にとっては未知のウイルスである。

- ・強毒性の可能性がある！ → 感染者の多くが死亡する可能性あり
- ・誰にも免疫(=抵抗力)がない！ → 全ての人に感染するリスクあり
- ・予防接種がない！ → 安全に免疫をつけることができない
- ・治療が確立されていない！ → 抗ウイルス薬が効かない可能性あり

【参考】スペイン風邪(1918~1920)

鳥インフルエンザ A(H1N1)ウイルスが原因。

全人類の3割が感染し、5000万人以上が死亡。(日本では40万人が死亡)

### 感染経路は？

ウイルスに感染した鳥の排泄物や体液との濃厚な接触及びこれらの飛沫の吸引。

→ 鳥に近づかなければ感染しない

鳥の肉や卵を食べることで感染する可能性は極めて低い、ゼロとは言えない。

→ 食品全体が 70℃以上になるよう加熱すればウイルスは死滅するので安全

### 症状は？

38℃以上の発熱、咳、筋肉痛、頭痛、全身倦怠感など。急速に悪化することが多い。

→ 季節性インフルエンザとほぼ同じである

### 診断は？

症状に加え、10日以内に鳥や感染者との接触があったかがポイント。

確定診断は高度な検査機関に検体を送って行う必要がある。

### 治療は？

タミフルなどの抗ウイルス剤が有効である模様。(症状発現後48時間以内に内服開始)

加えて、症状に合わせた対症療法を行う。

→ 今後ウイルスが変化すれば、抗ウイルス剤が効かなくなる可能性あり

### 今できる感染予防策は？

不用意に鳥に近づかないようにする。(市場や養鶏場に近寄らない)

鳥の解体をしない。

手洗いとうがいの習慣作り

### 新型インフルエンザとは？

鳥から人に感染しやすくなった鳥インフルエンザウイルスが更に変化して、人から人へと感染する能力を獲得したとき、その新種のウイルスを新型インフルエンザウイルスといい、そのウイルスによって起こる疾患を新型インフルエンザといいます。

### 新型インフルエンザが発生したらどうなるか？

鳥インフルエンザ同様、人には新型インフルエンザウイルスに対する免疫がないため、誰もが容易に感染し、さらに人から人へと感染が伝播するため、短期間のうちに地球全体に蔓延する可能性があります。この世界的な大流行を『パンデミック』といいます。

### WHO パンデミックフェーズとは？

- フェーズ1 ヒトへ感染する可能性を持つ型のウイルス発生がない。
- フェーズ2 ヒトへ感染し、パンデミック(世界流行)を引き起こす可能性を持つ亜型のウイルスが検出
- フェーズ3 新しい亜型のインフルエンザウイルスが散発的または限られた集団に感染しているが、コミュニティレベルでの継続的なヒト-ヒト感染は発生していない
- フェーズ4 コミュニティレベルでの発生を継続させる力がある新しい亜型のインフルエザウイルスが、ヒト-ヒト感染していることが確認された。
- フェーズ5 WHO の1つの地域に属する2か国以上で、そのインフルエンザウイルスによってコミュニティレベルの感染が継続している。
- フェーズ6 フェーズ5の条件に加え、WHO の別の地域の1か国以上において、そのインフルエンザウイルスによってコミュニティレベルの感染が継続している。